

平成25年台風第26号による伊豆大島の災害への緊急消防援助隊出動に関する消防庁長官表彰等

広域応援室

1. 概要

平成25年台風第26号の影響により同年10月16日（水）に伊豆大島で発生した土砂災害は、死者36名、行方不明者3名（平成26年2月25日現在 東京都大島町の数値）を出すなど甚大な被害をもたらしました。発災直後、東京都知事から応援要請を受けた消防庁長官の求めにより、1都4県から緊急消防援助隊が出動し、現地で被害情報の収集や救助活動等に従事しました。

この災害は、平成7年に緊急消防援助隊が創設されて以来、離島に出動した初めての事案となり、車両や資機材の大規模投入が困難な状況でありましたが、消防防災ヘリコプターのほか自衛隊輸送機による輸送を行うなど関係機関と連携し、迅速な部隊投入を実施しました。

消防庁では、現地で消防応援活動に貢献した緊急消防援助隊とその迅速な出動に協力した自衛隊を表彰するとともに、この災害への一連の対応について検証するため意見交換会を開催しました。

受賞消防本部・県消防防災航空隊	
さいたま市消防局	沼津市消防本部
千葉市消防局	熱海市消防本部
東京消防庁	伊東市消防本部
横浜市消防局	富士市消防本部
川崎市消防局	田方消防本部
静岡市消防局	埼玉県消防防災航空隊
浜松市消防局	静岡県消防防災航空隊



受賞消防本部と県消防防災航空隊の皆様



大島空港に出動した消防防災ヘリコプター等



緊急消防援助隊による夜間活動

2. 消防庁長官賞状授与式

平成26年1月15日（水）、消防庁において、緊急消防援助隊として出動し、16日間の活動期間中に延べ479隊、2,055名の隊員を派遣した12消防本部及び2県消防防災航空隊に対し、消防庁長官表彰を行いました。

式典では、大石利雄長官から、各消防長及び各航空隊長に賞状を授与しました。

3. 消防庁長官感謝状贈呈式

平成26年1月17日（金）、防衛省において、緊急消防援助隊の出動に際し、輸送機（C-1及びC-130H）により、隊員57名、車両13台及び資機材の輸送を支援した航空自衛隊の輸送航空隊に対し、消防庁長官感謝状を贈呈しました。

式典では、室田哲男国民保護・防災部長から、各輸送航空隊司令に感謝状を伝達しました。

受賞航空隊	
航空自衛隊 第1輸送航空隊	(小牧基地)
航空自衛隊 第2輸送航空隊	(入間基地)
航空自衛隊 第3輸送航空隊	(美保基地)



受賞航空隊の皆様



大島空港への自衛隊輸送機（C-1）による輸送
(防衛省提供)

4. 意見交換会

平成26年1月24日（金）、消防庁において、この災害に対する緊急消防援助隊の一連の活動を検証し、緊急消防援助隊の更なる円滑な運用及びその体制整備に資することを目的に意見交換会を開催しました。

意見交換会には、緊急消防援助隊として出動した消

防本部及び消防防災航空隊並びに応援都県をはじめ、現地消防本部である大島町消防本部の代表者にも出席いただき、発災直後の現地の状況から緊急消防援助隊の活動に至るまで、多様な視点から多面的な意見交換を行いました。

主な論点は以下のとおりです。

- (1) 初動対応について
- (2) 現地への輸送手段について
- (3) 現地における指揮・調整について
- (4) 活動上の課題について
- (5) 後方支援体制について
- (6) 関係機関との連携について
- (7) 航空部隊の活動について

消防庁では、今後、発生が懸念される南海トラフ地震などの大規模災害に際し、緊急消防援助隊の出動に関する措置を迅速かつ的確に行うため、今回抽出された課題を整理し、改善に向けて検討を重ねるとともに、都道府県及び消防本部並びに関係機関と連携し、緊急消防援助隊の充実・強化に努めて参ります。



意見交換会の様子

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室 平子・村主
TEL: 03-5253-7527 (直通)